

脱炭素社会の実現を目指して、
企業とともに

一般社団法人 地球温暖化対策技術会

一般社団法人地球温暖化対策技術会

東京都港区虎ノ門3-18-12 ステューディオ虎ノ門210
tel:03-6809-1391

会員会社一覧

- 株式会社 I H I
- あおみ建設株式会社
- アジア航測株式会社
- 株式会社安藤・間
- 株式会社エックス都市研究所
- NGK株式会社
- 荏原環境プラント株式会社
- 株式会社奥村組
- 鹿島建設株式会社
- カナデビア株式会社
- 川崎重工業株式会社
- 株式会社鴻池組
- JFEエンジニアリング株式会社
- 株式会社神鋼環境ソリューション
- 株式会社タクマ
- 中央復建コンサルタンツ株式会社
- 戸田建設株式会社
- 株式会社トーニチコンサルタント
- ナトリ株式会社
- 日鉄エンジニアリング株式会社
- 日本環境技研株式会社
- ヒューリックプロパティソリューション株式会社
- 富士電機株式会社
- 前澤化成工業株式会社
- 三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社
- 株式会社明電舎
- 株式会社レックスホールディングス

地球温暖化対策技術会ニース

各会員企業の環境技術を生かして、地域・社会に貢献する団体

〇会長挨拶

我が国は、2021年6月に「地球温暖化対策推進法」を改正し、「2050年までの脱炭素社会の実現」を基本理念として位置づけました。また、2021年11月のCOP26においても、気候変動問題は、世界的な喫緊の課題と認識されています。一方で、新型コロナウイルス感染症蔓延により、社会が大きく変革されつつあり、「脱炭素社会」、「循環経済」、「分散化社会」という「3つの移行」で経済社会のリデザイン（再設計）が求められており、国のみならず企業の果たす役割が重要です。

私も地球温暖化対策技術会では、民間の力を結集し、環境省その他行政機関との調和のとれた情報共有・連携のもと、脱炭素社会の実現に貢献して参りたいと思っております。

皆様のご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

代表理事・会長 薄本 徹也

〇本会のご紹介

本会は、地球温暖化対策技術に関する調査、研究、開発及びそれらの普及を国及び地方公共団体と連携、協力しつつ促進、もって脱炭素社会の実現に寄与することを目的としています。

近年、環境が社会・経済を牽引し、将来の日本の発展に繋げると、環境と成長の好循環を具体化する動きが世界規模で加速しており、本会も企業の枠を超えて推進します。

気候変動対策が潜在的な巨大マーケットであり、技術革新とビジネスの融合に向けたパラダイム転換が求められる中、本会の特徴としては、地球温暖化対策技術を通じて、

- ①環境省その他行政機関との情報交流・連携の推進
 - ②会員企業相互の技術交流・意見交換の推進
 - ③そこから模索されるビジネスチャンスの創出
- を目指しています。

組織構成

- 総会 1回/年 業務決議機関
- 理事会 2回/年 総会決議事項の遂行機関
- 運営委員会 4回/年 事業の遂行の実務及び当協会の運営

経営者懇談会

当会会員経営者層と環境省幹部による最新の環境施策に関する懇談を年1、2回実施し、環境省とのコミュニケーションを深めています

政策懇話会

会員間や環境省から重要施策の具体的方策についての話題提供を受け、議論、意見交換を行い、環境提言に繋がります



セミナー・講演会

会員同士や他業界等で環境に対する話題でのセミナーや講演会の実施により、より環境に対する知見を深めます。



政策検討委員会

2050年カーボンニュートラル実現に向けて、会員起案による政策検討委員会を設置しています。

政策検討委員会として、3回/年、各WGの会合を5回/年程度行い、会員企業各社の環境に対する技術を「脱炭素」、「循環経済」、「自然再興」の3つの柱を基に横断的に作用させることで、より社会に実装できる提案を目指します。

テーマ例；

- ・再エネの主力電源化
- ・地域循環共生圏・地域脱炭素ロードマップ
- ・建設・鉄鋼・プラント業界における脱炭素
- ・廃棄物処理システムの脱炭素化
- ・プラスチックの資源循環
- ・カーボンリサイクル

